

NEC

N8141-69 デバイス増設ユニット

Startup Guide

スタートアップガイド

はじめにお読みください

856-857821-001- B 2019年 12月 第2版

箱を開けてから本装置が使えるようになるまでの手順を説明します。
このスタートアップガイドにしたがって作業してください。



本書は大切に保管してください。

！

使用上のご注意

本装置を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本書にはどこが危険か、どのような危険に遭うのか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。本書、および警告ラベルでは危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されます。

警告 人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

注意 火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

| | | | | |
|--|-------|---|----------|--|
| | 注意の喚起 | この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。 | (感電注意) | |
| | 行為の禁止 | この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。 | (分解禁止) | |
| | 行為の強制 | この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。 | (プラグを抜け) | |

(本書での表示例)

| | | |
|---------|--|------------|
| 注意を促す記号 | 危険に対する注意の内容 | 危険の程度を表す用語 |
| | | 注意 |
| | 電源がONのまま取り付け・取り外しをしない 本体装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続しているACコードをACコンセントから抜いてください。ACコードがACコンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。 | |

本書および警告レベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

| | | | |
|--|----------------------------|--|--------------------------|
| | 感電のおそれがあることを示します。 | | 高温による損害を負うおそれがあることを示します。 |
| | 指などがはさまれるおそれがあることを示します。 | | けがをするおそれがあることを示します。 |
| | 発煙または発火のおそれがあることを示します。 | | 特定しない一般的な注意・警告を示します |
| | 爆発や破裂による障害を負う恐れがあることを示します。 | | |

行為の禁止

| | | | |
|--|---|--|---|
| | 特定しない一般的な禁止を示します。 | | 本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。 |
| | 火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。 | | ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。 |
| | 指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの障害のおそれがあります。 | | 水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。 |

行為の強制

| | | | |
|--|--|--|--|
| | 本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。 | | 特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。 |
| | 装置に対して接地をする必要があることを示します。 | | |

安全上のご注意

一般的な注意事項

| | |
|--|---|
| | 警告 |
| | 人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御を目的とした使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産被害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。 |
| | 指定以外の場所で使用しない 本装置はEIA規格に適合したExpressサーバ用の19インチラックに取り付けて使用します。本装置を取り付けるラックは設置環境に適していない場所に設置しないでください。 本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付のマニュアルを参照するか、保守サービス会社にお問い合わせください。 |
| | 規格以外のラックで使用しない 本装置はEIA規格に適合したExpressサーバ用のラックに取り付けて使用します。EIA規格に適合していないラックに取り付けて使用したり、ラックに取り付けずに使用したりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因になることがあります。本装置で使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。 |
| | 煙や異臭、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに本体装置の電源をオフにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。 |
| | 針金や金属片を差し込まない 通気孔やカートリッジ挿入口から金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。 |

！

注意

| | |
|--|---|
| | 日本国外で使用しない 本装置は日本国内専用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。この装置を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。 |
| | 装置内に水や異物を入れない 装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐに本体装置の電源をオフにして電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社に連絡してください。 |

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

| | |
|--|---|
| | 注意 |
| | 指定以外の場所に設置・保管しない 本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。 ●ほこりの多い場所 ●直射日光が当たる場所 ●給湯器のそばなどの湿気の多い場所 ●不安定な場所 |
| | ファンや通気孔をふさがない 本装置の背面にあるファンや前面の通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、誤動作の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。 |
| | 腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。 また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも配置しないでください。装置内部のプリント基板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。 もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合には、販売店または保守サービス会社にご相談ください。 |
| | カバーを外したまま取り付けない 本装置のカバー類を取り外した状態でラックに取り付けしないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。 |
| | 指を挟まない デバイス増設ユニットをスライドレールに取付ける際に、レールなどで指を挟んだりしないよう十分注意してください。 |
| | プラグを抜かずインタフェースケーブルの取付けや取り外しをしない インタフェースケーブルの取付け／取り外しは電源コードをコンセントから抜いておこなってください。たとえ、電源ユニットがオフ状態でも電源コードを接続したままケーブルに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。また、ケーブルに取付け、取り外しは接続先の電源を切ってからおこなってください。 |
| | ラックから引き出した状態にある装置に荷重をかけない ラックから引き出された状態にある装置の上から荷重をかけないでください。フレームが曲がり、ラックへ搭載できなくなります。また、装置が落下し、怪我をするおそれがあります。 |

！

注意

| | |
|--|---|
| | 指定以外のインタフェースケーブルを使用しない インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルに取扱いや接続について次の注意をお守りください。 ●破損したケーブルコネクタを使用しない。インタフェースケーブルを接続する前に、ケーブルコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり 汚れたりしていないことを確認してください。 ●ケーブルを踏まない。 ●ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。 ●ケーブルの上にものを乗せない。 ●インタフェースケーブルの接続がゆるんだまま使用しないでください。インタフェースケーブルを接続したら、ネジ止めなどのロックを確実にこなってください。インタフェースケーブルを取り外すときはロックを外し、コネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。 |
| | ラックに取り付けた状態で作業しない ラックに取り付けた状態で作業をしないでください。感電するおそれがあります。作業はラックから取り外してからおこなってください。 |

電源・電源コードに関する注意事項

| | |
|--|--|
| | 警告 |
| | ぬれた手で電源プラグを持たない。 ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。 |
| | アース線をガス管につながらない アース線は絶対にガス栓につながらないでください。ガス爆発の原因になります。 |
| | 電源を切り離す場合には、2系統の電源を切り離す 本製品は2系統の電源からAC受電している場合があります。装置から電源を切り離したい場合には、必ず2系統の電源を切り離してください。感電するおそれがあります。 |

！

注意

| | |
|--|---|
| | 指定以外のコンセントに差し込まない 指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。 また、延長コードが必要となるような場合には設置しないでください。本装置の電源仕様に合わせてないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。 |
| | たこ足配線にしない コンセントに定格以上の電流がながれることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。 |
| | 中途半端に差し込まない 電源コードはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。 |
| | 指定以外の電源コードを使用しない 本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。 また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。 ●コード部分を引っ張らない。 ●電源コードをはさまない。 ●電源コードを折り曲げない。 ●電源コードに薬品類をかけない。 ●電源コードをねじらない。 ●電源コードの上にものを載せない。 ●電源コードを束ねたまま使わない。 ●電源コードを改造・加工・修復しない。 ●電源コードをステープラなどで固定しない。 ●電源コードを踏まない。 ●損傷した電源コードを使わない。 (損傷した電源コードはすぐに同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。) |
| | 添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない 添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。 |
| | 電源ケーブルを持って引き抜かない ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。 |

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

| | |
|---|--|
| ⚠ 注意 | |
| 一人で搬送・設置をしない ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック(44Uラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。 | |
| 荷重が集中してしまうような設置はしない ラック、および取り付けた装置の重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。 | |
| 一人で部品の取り付けをしない ラック用のドアやトレーなどの部品は2人以上で取り付けてください。また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。 | |
| ラックが不安定な状態で装置をラックから引き出さない ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを固定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。 | |
| 複数台の装置をラックから引き出した状態にしない 複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れてけがをするおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。 | |
| 定格電源を越える配線をしない やけどや火災、装置の破損を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を越えないようにしてください。なお、電気設備の配線とインストール用件に関しては、電源工事を行った業者、または管轄の電力会社にお問い合わせください。 | |
| 動作周囲温度の上昇 密閉したラックや複数ユニットを組み込んだラックに搭載する場合は、ラック環境の動作周囲温度は室温より高くなる場合があります。ラックの内部環境温度が、取り付けた装置の動作温度の推奨範囲を超えないようにしてください。 | |
| 気流量の確保 ラックへの装置の搭載は、装置の安全動作時に要求される気流量を満足するよう搭載してください。 | |
| 接地の信頼性 ラックに実装された装置の接地は確実に維持してください。配電盤に直接接続しない場合(テーブルタップを使用する場合)は特に注意してください。 | |

お手入れに関する注意事項

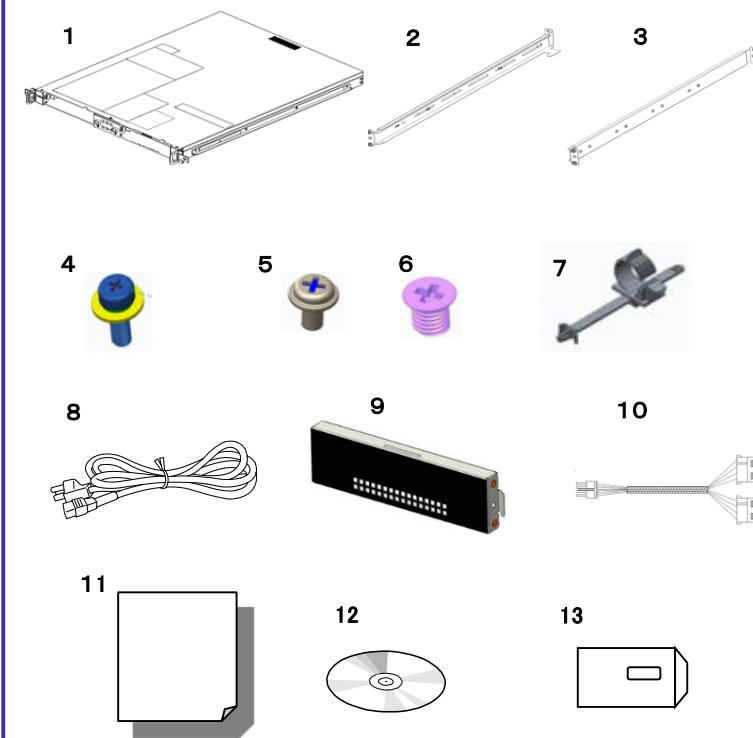
| | |
|--|--|
| ⚠ 警告 | |
| 自分で分解・修理・改造はしない 本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造をおこなったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。 | |
| プラグを抜かずに取り扱わない お手入れやオプションの取付け、取り外しは、本装置の電源ユニットをオフにして、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源ユニットをオフにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品やコネクタに触れると感電したりショートによる火災を起こしたりするおそれがあります。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。 | |
| ⚠ 注意 | |
| 高温注意 本装置の電源ユニットをオフにした直後は、内蔵デバイスなどをはじめ装置内部の部分が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取付け、取り外しをおこなってください。 | |
| 中途半端に取り付けない 電源コードやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。 | |

運用中の注意事項

| | |
|---|--|
| ⚠ 注意 | |
| ラックから引き出したり取り出したりしない 運用中に本装置をラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。 | |
| 雷がなったら触らない 雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本装置には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。 | |
| 装置の上にものを載せない 本装置が倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。 | |
| ペットを近づけない 本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。 | |
| 近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない 本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源を切ってください。電波による誤作動の原因となります。 | |

1. 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください。



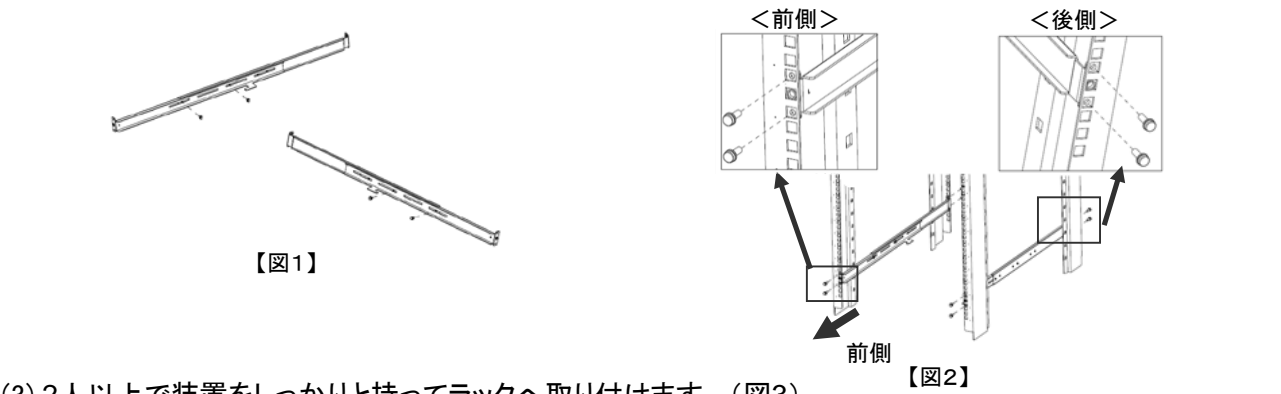
| | 品名 | 個数 |
|----|-------------------------------------|----|
| 1 | N8141-69 デバイス増設ユニット | 1 |
| 2 | ラックマウントレールL | 1 |
| 3 | ラックマウントレールR | 1 |
| 4 | ネジA(M5ミリネジ) | 10 |
| 5 | ネジB(M3ミリネジ) | 10 |
| 6 | ネジC(サラネジ) ※電源ユニット(オプション)取付時に使用 | 2 |
| 7 | ケーブルクリップ | 2 |
| 8 | 電源コード(3m) | 1 |
| 9 | デバイスダミーカバー | 1 |
| 10 | デバイス電源ケーブル ※パワーバックボードのコネクタA,Bに接続 | 2 |
| 11 | スタートアップガイド(本書) | 1 |
| 12 | CD (ユーザーズガイド) | 1 |
| 13 | 保証書 | 1 |

2. ラックへの取り付け

デバイス増設ユニットのラックへの取り付け方法を以下に示します。

(1)ラックマウントレールのネジを緩めラックの長さに調節します。(図1)

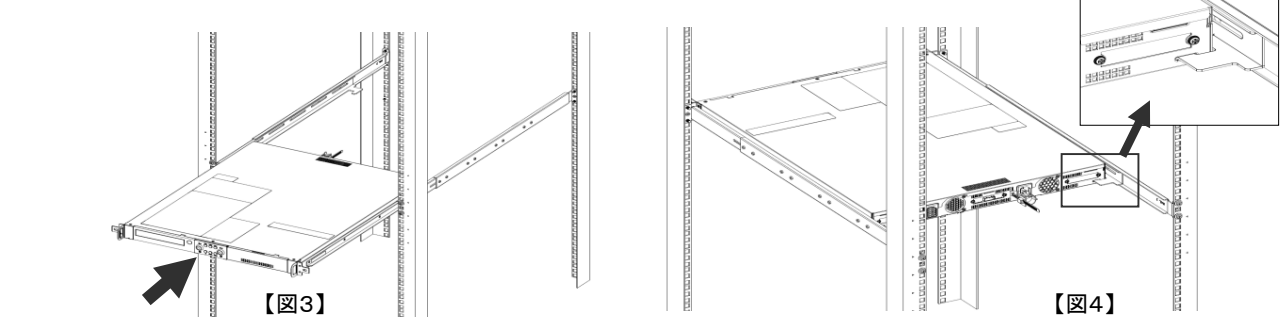
(2)ラックにレールを前側に左右2個ずつ、後側に左右2個ずつ、計8箇所ネジAで取り付けます。(図2)



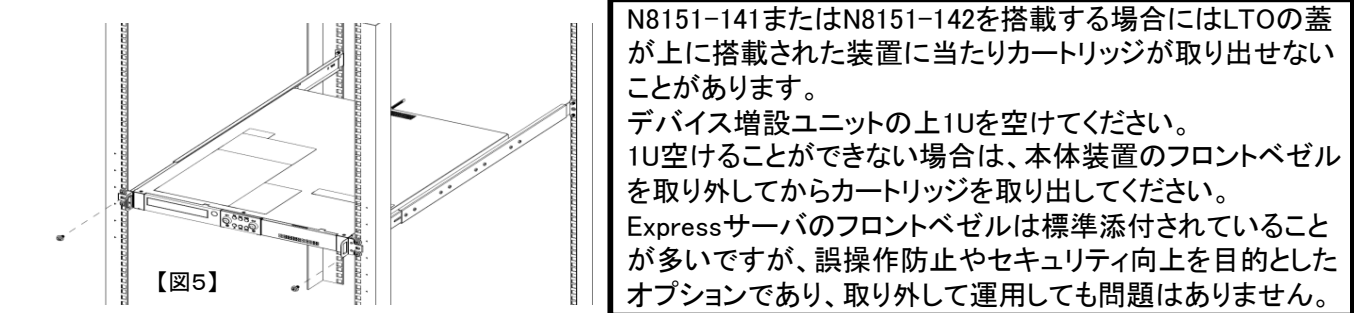
(3) 2人以上で装置をしっかりと持ってラックへ取り付けます。(図3)

ラックの前面から本製品をラックマウントレールの上に載せて、後ろにゆっくりスライドしてください。

ラックマウントレールのフックに当り、後ろに押せなくなるまでスライドさせます。(図4)



(4)本製品前面の左右にあるラック固定ネジ穴にネジAを固定します。(図5)



3. デバイスの取り付け方法

本装置への5.25インチデバイスの取り付け方法を以下に示します。

(1)トップカバーを取り外し、ブラケットのネジをはずして装置からブラケットを取り外します。(図6)

(2) 取り付けるデバイスにブラケットを取り付けます。取付ネジはネジBを使用してください。



(3) 本装置からブラケットを取り外した逆の手順でデバイスを取り付けます。

本装置の詳しい取り扱いについては、添付のCD内のユーザーズガイドに記載されています。本装置を使用前に必ずユーザーズガイドもお読みください。